

○齋藤利七致明

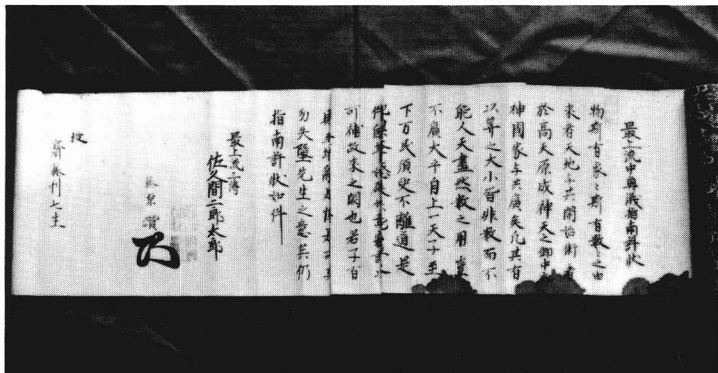
伊達郡大綱木村字俎板倉45番地

文政9年(1826)1月25日生

明治32年(1899)8月4日没

算軒徳誉術了居士 享年74歳

利七は大綱木村字荒町佐藤庄二郎の子として生まれ、嘉永五年、同村弥吉の許へ妻子共に養子相続し齋藤利七と改名した。初め作十正方に和算を学び後に元治元年、39歳の時に佐久間續



齋藤利七の和算指南許状(巻物)

に入門、明治13年に初伝、程なく二伝を許されている。彼は續の高弟33名のうちの一人といわれた。明治22年、門人たちにより利七の徳を讃え、御霊神社参道入口左手に彼の寿蔵碑が建てられている。彼の算額には春日神社算額の他に小綱木村八幡神社算額(慶応2年)、木幡山弁財

天算額(慶応2年)、木幡村隠津島神社算額(明治17年)がある。

○菅野豊蔵

伊達郡西福沢村字下平25番地

嘉永2年(1849)4月5日生

大正11年(1922)年4月24日没

實性庵豊寿相霊 享年74歳

豊蔵は父甚兵衛、母イネの二男として生まれ、明治15年、立子山村字栃久保菅野ふじの許へ後夫として入籍している。彼は初め利七に和算を学び明治13年に利七門人として佐久間續に入門、後年自ら庸軒派算法菅野社中を結成した。彼の算額には門人たちにより奉掲された飯野町小手神社算額(明治19年)、立子山村八幡神社算額(明治20年)がある。

## 卯香女の絵馬

〔所在地〕 川俣町飯坂字諏訪山1番地 諏訪神社

川俣には現在、250点に及ぶ絵馬が保存されている。なかでも川俣春日神社の発句絵馬は安